

## 第4章 地域別の取組

### 1 地域の区分

地域の区分は県民局単位とし、東青、中南、三八、西北、上北及び下北の6地域です。

#### 西北地域

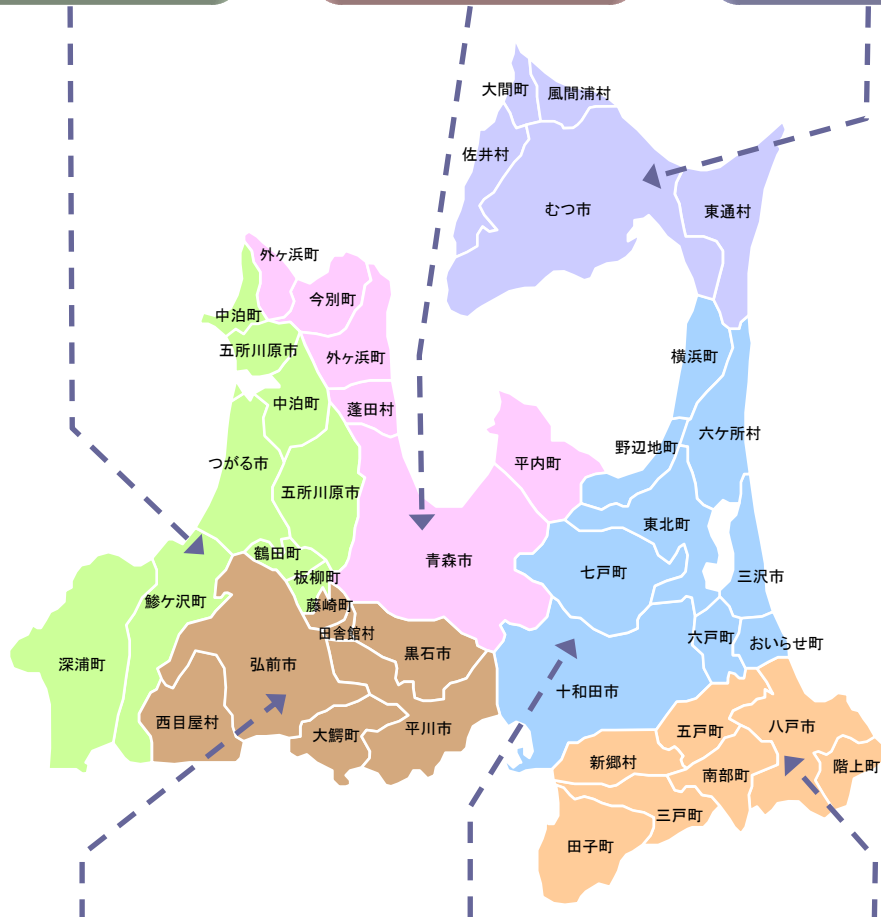
- 市町村数 2市5町
- 面積(H29) 1,794.38 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 145,566人
- 主要農産物
  - ・米
  - ・りんご
  - ・メロン
  - ・すいか
  - ・ながいも
  - ・だいこん
  - ・ねぎ
  - ・ごぼう
  - ・トマト
  - ・アスパラガス
  - ・ぶどう

#### 東青地域

- 市町村数 1市3町1村
- 面積(H29) 1,478.10 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 310,640人
- 主要農産物
  - ・米
  - ・りんご
  - ・トマト
  - ・ほうれんそう
  - ・とうもろこし
  - ・ねぎ
  - ・カシス

#### 下北地域

- 市町村数 1市1町3村
- 面積(H29) 1,416.08 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 74,451人
- 主要農産物
  - ・米
  - ・ばれいしょ
  - ・だいこん
  - ・かぼちゃ



#### 中南地域

- 市町村数 3市2町2村
- 面積(H29) 1,556.35 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 277,854人
- 主要農産物
  - ・りんご
  - ・米
  - ・大豆
  - ・とうもろこし
  - ・だいこん
  - ・ぶどう
  - ・小麦
  - ・にんにく
  - ・そば
  - ・にんじん
  - ・もも
  - ・トマト

#### 上北地域

- 市町村数 2市6町1村
- 面積(H29) 2,125.84 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 200,529人
- 主要農産物
  - ・米
  - ・ごぼう
  - ・ながいも
  - ・だいこん
  - ・にんにく
  - ・にんじん
  - ・ばれいしょ
  - ・キャベツ
  - ・ねぎ
  - ・こかぶ
  - ・トマト

#### 三八地域

- 市町村数 1市5町1村
- 面積(H29) 1,274.89 km<sup>2</sup>
- 人口(H27) 299,225人
- 主要農産物
  - ・米
  - ・ながいも
  - ・ごぼう
  - ・にんにく
  - ・ねぎ
  - ・食用ぎく
  - ・トマト
  - ・葉タバコ
  - ・西洋なし
  - ・さくらんぼ
  - ・ぶどう
  - ・りんご

資料 面積：H29 全国都道府県市区町村面積調、人口：H27 国勢調査

## 2 各地域の取組

### (1) 東青地域

#### ア 地域の概況

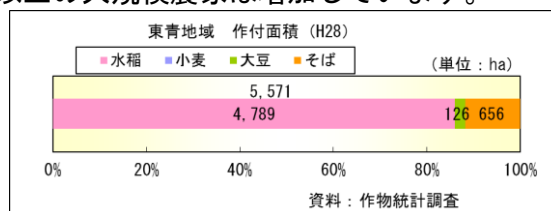
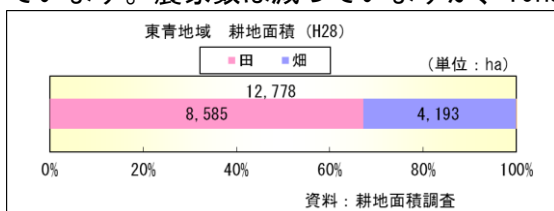
東青地域は本県のほぼ中央部に位置し、県都の青森市、東津軽郡の平内町、今別町、外ヶ浜町及び蓬田村の1市3町1村で構成されています。

地勢は、地域の北側は陸奥湾と津軽海峡に面し、西部には中山山脈が縦走しており、南部には八甲田連峰がそびえています。

夏季は「ヤマセ」と呼ばれる偏東風の影響で冷涼な気候となり、冬季は季節風の影響で積雪が多くなっています。

#### イ 農業の特徴

水稻が基幹となっていますが、青森市浪岡地区を中心にりんごの一大産地が形成されています。また、転作作物はそばの作付面積が大きく、トマトのハウス栽培も盛んに行われています。農家数は減っていますが、10ha以上の大規模農家は増加しています。



#### 《東青地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30ha以上	計
平成22年	1,428	1,701	200	76	18	18	3,441
平成27年	988	1,226	179	83	22	25	2,523

#### ウ 基盤整備等の状況

##### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
54.4%	55.8%	48.9%	55.2%	35.2%	9.1%	1.0%	9.5%	31.3%	85.6%	21.3%

##### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	4	1	2	24	5	217

#### エ 取組方針

東青地域では、米の作付面積が耕地面積全体の約7割を占めていますが、まだ未整備な水田も多いことから、今後も積極的に水田整備に取り組み、併せてこれを契機とした担い手への農地集積を拡大していきます。

また、一方で青森市浪岡地区においては、りんごの一大生産地であることから、生産性の向上及びコスト削減のため、地域の農道整備等を推進します。

重点的に取り組む事業	○経営体育成基盤整備事業 ○畑地帯総合整備事業
計画的に取り組む事業	○基幹水利施設ストックマネジメント事業 ○ため池等整備事業

注)「重点的に取り組む事業」とは、事業管理計画など各種計画を踏まえつつ、積極的に政策誘導して強力に実施していく事業、「計画的に取り組む事業」とは、「農業農村整備事業管理計画」、「青森県基幹的農業水利施設の機能保全に関する実施方針」など各種計画に基づき着実に実施していく事業をいう。(以下同じ)

## (2) 中南地域

### 1) 地域の概況

中南地域は本県の南西部に位置し、弘前市、黒石市、平川市、中津軽郡の西目屋村、南津軽郡の藤崎町、大鰐町及び田舎館村の3市2町2村で構成されています。

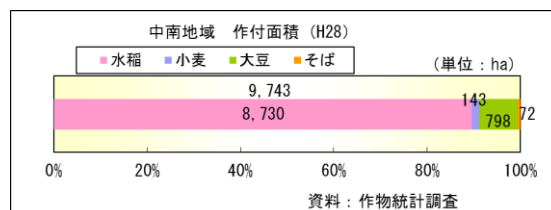
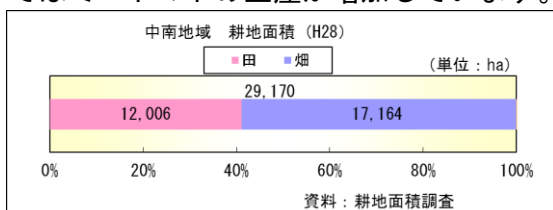
地勢は、西部に岩木山が、東部には八甲田連峰がそびえ、南部には白神山地を抱えており、平野部は地域の中央部にほぼ南北に開けています。

夏季は20℃前後（6月～9月平均気温）のしのぎやすい気温が続き、台風も比較的少なく、冬季は北西の風が強く寒冷で、積雪期間（12月～3月）が長くなっています。

### 2) 農業の特徴

中南地域では、平地を中心とした米の生産と周囲の山沿地域を中心としたりんごの生産が盛んな本県の主要な農業地帯です。特にりんごは日本一の生産量を誇っています。

八甲田山系の山間部では、夏でも涼しい気候を利用し、だいこん、にんじん、レタス等の産地が形成されています。また、平地では、トマトの産地が形成されているほか、近年ではミニトマトの生産が増加しています。



#### 《中南地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30ha以上	計
平成22年	5,796	7,475	320	84	18	13	13,706
平成27年	4,669	6,528	351	105	34	27	11,714

### 3) 基盤整備等の状況

#### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
63.3%	76.0%	37.0%	24.1%	35.2%	3.1%	6.3%	0.0%	88.2%	93.9%	100.0%

#### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	8	-	7	53	24	170

### 4) 取組方針

中南地域では、昭和30年代の比較的早い時期から農地の整備が実施されてきましたが、10a程度の小区画が多く、耕作道路が狭小であり、用排水路が素掘りであることから、担い手への農地の集積・集約化や高収益作物の導入の妨げになっています。このため、ほ場整備事業への意欲が高い地区を重点的に事業化に向けて取組を進めていきます。また、基幹的な農業水利施設の多くが耐用年数を超過し、更新の時期を迎えており、農業水利施設の長寿命化や、舗装の劣化対策や走行時の安全性向上のための農道の更新整備に計画的に取り組んでいきます。

重点的に取り組む事業	○経営体育成基盤整備事業 ○農地中間管理機構関連農地整備事業
計画的に取り組む事業	○基幹水利施設ストックマネジメント事業 ○通作条件整備事業

### (3) 三八地域

#### 1) 地域の概況

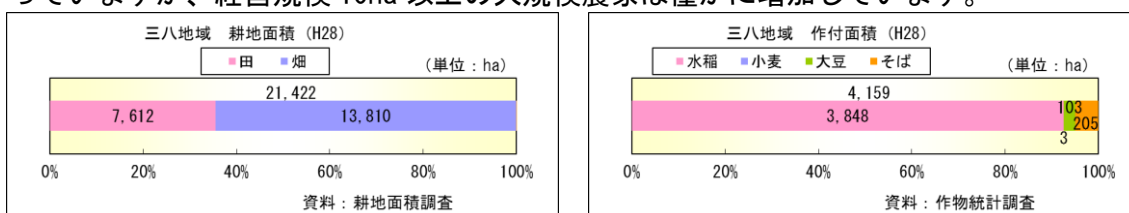
三八地域は本県の東南端に位置し、八戸市、三戸郡の三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町及び新郷村の1市5町1村で構成されています。

地勢は、南方は岩手県、西方は秋田県に接しており、緩やかな丘陵地域が続く中を馬淵川、新井田川、五戸川が流れて東方の太平洋に注いでいます。

夏季は「ヤマセ」の影響で冷涼な気候となりますが、秋から冬は太平洋型気候の特徴である少雪多照となります。

#### 2) 農業の特徴

にんにく、ながいもを始めとする多様な野菜や、さくらんぼ、りんごなどの果樹、葉たばこの栽培が盛んです。また、養豚・養鶏を中心とした畜産業が盛んです。全農家数は減っていますが、経営規模10ha以上の大規模農家は僅かに増加しています。



#### 《三八地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30ha以上	計
平成22年	2,943	3,781	307	54	10	20	7,115
平成27年	2,335	3,092	292	59	12	22	5,812

#### 3) 基盤整備等の状況

##### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
20.9%	41.0%	53.8%	39.6%	41.0%	15.6%	3.6%	8.5%	83.4%	93.3%	79.4%

##### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	4	-	4	11	11	88

#### 4) 取組方針

三八地域では、耕地面積のうち田が36%、畑が64%と畑地の割合が多く、畑作や畜産との複合経営が定着している一方、水田の整備率が低いことから、低コスト化や畑地化を可能とするほ場整備事業に重点的に取り組み、担い手への農地の集積・集約化を推進します。

また、農業生産基盤や生活環境基盤が十分整備されていない地域が多いため、中山間地域総合整備事業を推進し、地域の生活環境を改善するとともに、農道整備事業を計画的に取り組んでいきます。

重点的に取り組む事業	○経営体育成基盤整備事業 ○中山間地域総合整備事業
計画的に取り組む事業	○通作条件整備事業

## (4) 西北地域

### 1) 地域の概況

西北地域は日本海に沿って南北に長く位置し、五所川原市、つがる市、北津軽郡の板柳町、鶴田町及び中泊町、西津軽郡の鱒ヶ沢町及び深浦町の2市5町から構成されています。

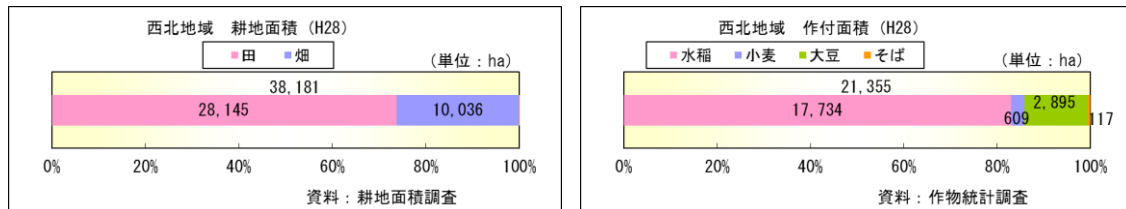
地勢は、北部のほぼ中央を岩木川が流れ、その両岸に平野部が広がり、南部には岩木山がそびえています。

夏季は内陸型の高温多湿ですが、北部では「ヤマセ」の影響を受けやすく、冬季は多雪で日本海からの西風が強く地吹雪が多発します。また、日本海沿岸地域では、対馬海流の影響で年間を通じ比較的気温は高いものの、冬から春にかけて西風の強い日が続きます。

### 2) 農業の特徴

耕地面積は県全体の約25%を占める約38,000haで、このうち7割超が田であり、水稻を基幹に、転作作物の大豆や小麦の栽培が盛んです。野菜は、屏風山砂丘地帯でメロン、すいか、ねぎ、だいこん、ながいも等、果樹では、りんごが板柳町を中心に、ぶどうは鶴田町を中心に栽培され、スチューベンが日本一の面積を誇っています。

農家数は減少傾向にありますが、10ha以上の大規模農家は増加傾向です。



#### 《西北地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1~5ha	5~10ha	10~20ha	20~30ha	30ha以上	計
平成22年	3,083	6,116	1,006	399	71	51	10,726
平成27年	2,193	4,808	914	420	100	66	8,501

### 3) 基盤整備等の状況

#### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
71.7%	33.4%	12.8%	26.1%	41.0%	24.3%	0.1%	0.0%	46.9%	66.6%	65.7%

#### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	6	-	21	65	43	899

### 4) 取組方針

西北地域では、意欲ある農業者が農業を継続していけるよう、担い手への農地集積・集約化による生産効率の向上や、高収益作物の導入・拡大を図るための区画整理や暗渠排水等の整備を推進します。また、基幹的な農業水利施設の長寿命化に取り組むことでライフサイクルコストの低減を図り、安定的な農業用水の確保と排水施設の機能維持による農村地域の防災・減災対策を推進するとともに、農業生産物の安定した流通を確保するために農道の保全対策にも計画的に取り組めます。

重点的に取り組む事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営体育成基盤整備事業</li> <li>○農地耕作条件改善事業(区画拡大、暗渠排水)</li> </ul>
計画的に取り組む事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業水路等長寿命化・防災減災事業</li> <li>○通作条件整備事業</li> </ul>

## (5) 上北地域

### 1) 地域の概況

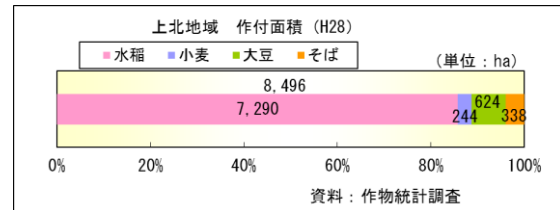
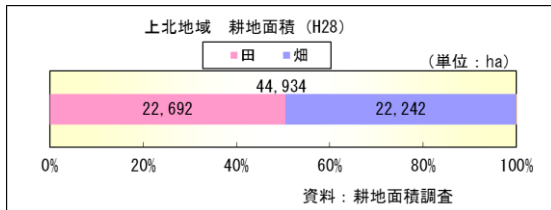
上北地域は本県の東南部に位置し、十和田市、三沢市、上北郡の野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、おいらせ町及び六ヶ所村の2市6町1村で構成されています。

地勢は、太平洋と陸奥湾及び八甲田山系に囲まれたほぼ平坦な台地で、地域の南側に十和田湖を源とする奥入瀬川が西から東へ流れ、太平洋に達しています。また、北部太平洋側は低地が多く、小川原湖等の湖沼が点在しています。

夏季は「ヤマセ」の影響で低温多湿及び日照不足となります。また、冬季は北西の季節風が強く山間部では積雪が多くなっていますが、平野部は表日本型の特徴を示し、乾燥して比較的積雪は少なくなっています。

### 2) 農業の特徴

野菜と肉用牛などの畜産との複合化が進んでいます。特に野菜は、ごぼう、ながいも、にんにく、にんじんなどの作付面積は県全体の半数以上を占めており一大産地が形成されています。また、5ha以上の大規模農家数は管内別で最も多くなっています。



#### 《上北地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1~5ha	5~10ha	10~20ha	20~30ha	30ha以上	計
平成22年	2,365	4,894	1,163	339	97	91	8,949
平成27年	1,583	3,689	1,026	374	114	108	6,894

### 3) 基盤整備等の状況

#### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
41.7%	36.8%	23.5%	11.0%	6.0%	0.4%	0.0%	0.3%	4.9%	13.7%	5.1%

#### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	15	1	5	45	15	352

### 4) 取組方針

上北地域は、地域の主力産業である畜産部門への飼料の安定供給と畑作の振興を支援するため、水田整備による汎用化と畑地整備に取り組むとともに、更新時期を迎えた県管理農地防災ダムの改修事業や農道の保全対策を推進します。

重点的に取り組む事業	○経営体育成基盤整備事業 ○畑地帯総合整備事業
計画的に取り組む事業	○農村地域防災減災事業 ○通作条件整備事業

## (6) 下北地域

### 1) 地域の概況

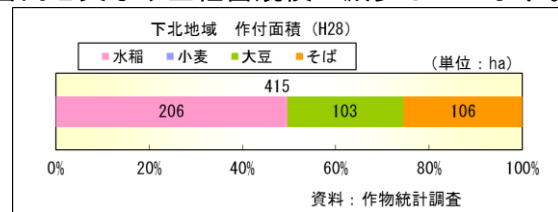
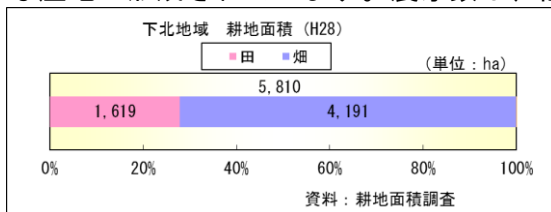
下北地域は本州の最北端に位置するまさかり型の半島で、むつ市、下北郡の大間町、東通村、風間浦村及び佐井村の1市1町3村で構成されています。

地勢は、東部は丘陵台地、田名部（中部）は低地、中西部は標高 700m台の山地、西部は大間・佐井の海岸丘陵地帯となっています。

気象は複雑な地形や海洋等の影響を受け、東側は表日本型気候に属し、6月から7月にかけて「ヤマセ」が吹き、低温多湿と日照不足となります。また、降水量は太平洋側が少なくなっています。

### 2) 農業の特徴

恵まれた草資源を活かして畜産業が盛んです。野菜は、だいこん、ばれいしょの大規模な産地が形成されています。農家数は、他管内と異なり全経営規模で減少しています。



#### 《下北地域 農業経営規模別経営体数の推移》

	1ha未満	1～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30ha以上	計
平成22年	414	218	31	26	16	25	730
平成27年	228	154	31	24	13	20	470

### 3) 基盤整備等の状況

#### 《水田・畑の整備率》

水田の整備率		畑の整備率								
区画整理	汎用化	農道(幅員4m以上)			畑地かんがい			排水改良		
		普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地	普通畑	樹園地	牧草地
15.3%	40.0%	61.2%	66.7%	63.9%	1.4%	0.6%	0.0%	95.0%	99.4%	96.6%

#### 《基幹農業水利施設数と農業用ため池数》

	頭首工	農業用ダム	機場	用水路	排水路	ため池
施設数	2	-	-	2	-	42

### 4) 取組方針

下北地域では、水田よりも畑作・酪農が盛んであり、自然的、経済的、社会的条件に恵まれず生産条件の不利な中山間地域等が多いことから、中山間地域総合整備事業による整備を推進していきます。

また、ため池の機能低下が危惧されることから、ため池の防災・減災対策を推進していきます。

重点的に取り組む事業	○中山間地域総合整備事業 ○ため池等整備事業
計画的に取り組む事業	○通作条件整備事業